

第3章

名古屋大学初年次教育基礎セミナー

山 田 孝

「基礎セミナー」は、「初年次教育」、「文理融合」、「少人数のセミナー形式」の授業であり、「知の探究のプロセス」と「学問の面白さ」を学ばせ、自立的学習能力を育成することを目標としている。この基礎セミナーに今年度も高校2年生12名、高校3年生3名の15名が参加した。SSHに関係あるテーマを見てみると「建築ドローイングを読む」「遺伝子を使うと何がわかる？ 何ができる？」「東日本大震災と法」「特許に見るセンサ技術」「日常生活のフシギを科学で説明してみよう」「現代の「食」と「農」」「地球と生命の共進化と未来、光合成」「バイオテクノロジーの研究実態と産業化」「薬についての正しい基礎知識を習得する」「エセ科学に関する議論を通じて、科学的なものの見方・考え方を養う」「地球環境塾－里山の暮らしに学ぶ持続可能な社会」「「こころ」は遺伝子でどこまで決まるのか」、半期の大学の授業ではあるが、実際に大学生と一緒に学ぶことにより、大学の学問研究に対する理解が深まり、キャリア形成にも役立っていると言える。